

シデコブシの再生

みどりのまちづくりグループ

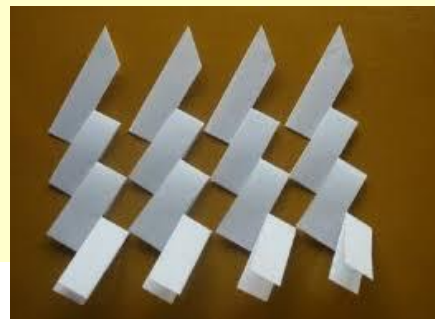
シデコブシ



コブシ(辛夷)



シデ(四手、垂、幣)



・愛知県は日本三大禿山の県→明治末から禿山復旧工事

1908年(明治41年)施工前



1909年(明治42年)施工前



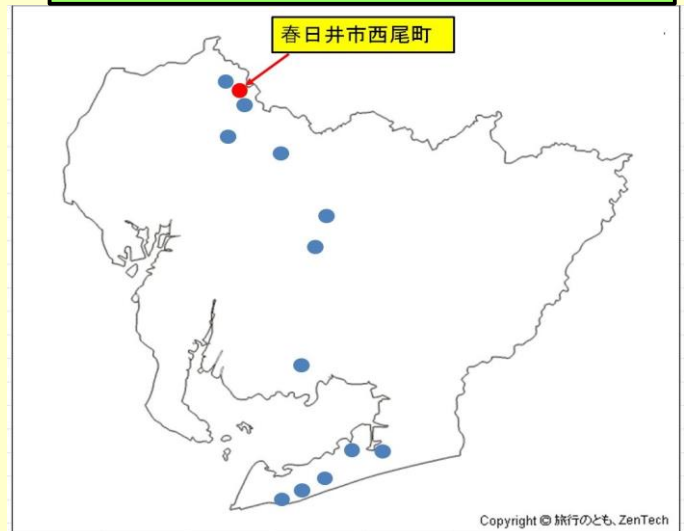
・湧水による湿地の周辺にシデコブシは普通にみられた

栄養分の少なく植物が育ちにくい湿地(低湿地)で耐えられる東海固有種

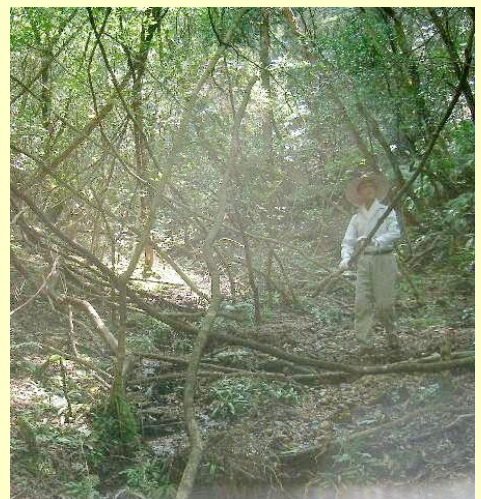
・人為攪乱により、生育地で分断・孤立化が進行

・環境省レッドリスト2019に準絶滅危惧種と指定

愛知県内の主なシデコブシ自生地



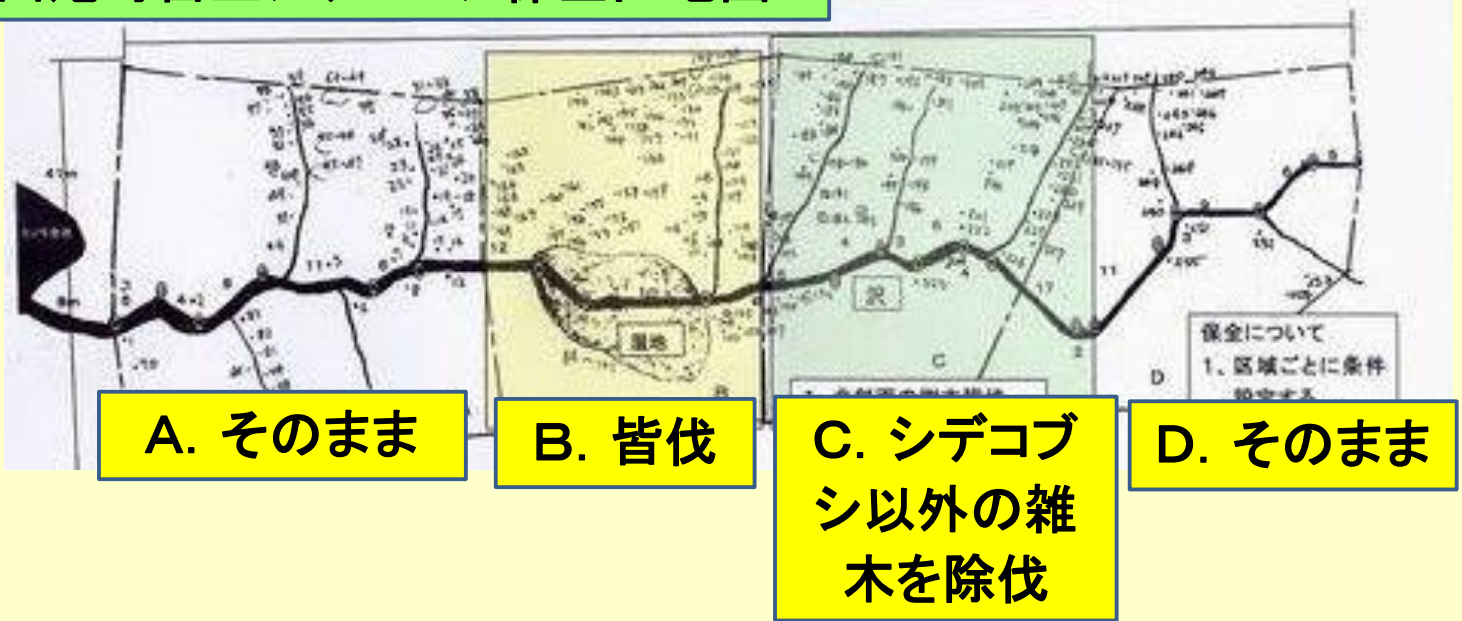
2007年3月 春日井市西尾町 自生シデコブシ群の惨状



・2007年、西尾町県有林のシデコブシ保全活動に県有林事務所長の許可

・同年、中部大学生物応用学科谷山鉄郎教授と協働で調査研究、保全開始

西尾町自生シデコブシ保全区地図



保全活動

除伐



下刈りと実生調査



通路作り(4,5年で更新)



調査活動

開花調査



番号札・成木



番号札・実生



まとめ(2011年4月)

- ・日照の条件が改善されればシデコブシの樹勢が大幅に改善される
- ・ミズゴケが繁茂するような環境、適度の湿地環境が必要
- ・除伐より皆伐のほうが枯死する確率が少ない

学術誌に共同執筆論文掲載(2018年)

『シデコブシ林における他樹種除伐及び皆伐が初期萌芽再生・土壌間隙水の科学特性に及ぼす影響について』-「陸の水」Vol.180(2018)別冊 日本陸水学会東海支部

2008年 雑木の除伐



2009年 他除伐区の開花



2010年 皆伐区の萌芽開花



2019年4月の自生地

